加斗に夫の失せもの十二月	絵馬はみな白馬を描き春立てり	また少し老けて揃いし初句会	寒の水噛んで胃の腑へ落しけり	老いてこそ願ふことあり初詣	【茂山俳句会】	年豆を炒りつつ齢にこだはりぬ	佇めば寒月光は胸を刺す	古の和歌口ずさみ若菜摘む	後手にしめる障子や隙間風	近道にふと気付きたる蕗の薹	老いの身の時々気負ふ冬帽子	節分会鬼のかぶれる人の面	寒紅梅道行く人を見送りぬ	初暦赤で書き込む誕生日	祠までつづく林道山眠る	遠富士や常野を画す片時雨	【桜川市岩瀬「萩」俳句会】	俳句
今井 繁子	吉原 秀子	植田 祥雲	鈴木 つぎ	皆川 一女		萩原きしの	渡部千恵子	齋藤 みよ	永瀬 ちい	金田とう女	若色寿美女	細谷 充女	入山ひろ子	三代みちよ	荻原 勅彦	小林 啓治		
送らる	成人と	【桜川歌	短	لو ا	差し馬	水仙の	分校に	豌豆に	久に聞き	掘り上	梅ケ枝	年の餅	雪晴や	湯たんぽ	品格の記	笹鳴や	初凧や	老いど

差し馬の鞄で流せる寒日和	水仙の初花に逢う古刹かな	分校に登校一人寒日和	豌豆に笹立ててやる寒日和	久に聞く故郷の訛初電話	掘り上げし葱のにほひの寒日和	梅ケ枝の下の思惟仏指細し	年の餅我が田我が臼我が搗きし	雪晴や小千谷縮の雪晒し	湯たんぽや赤子のごとく運びけり	胃.	笹鳴や一碗の茶の深みどり	初凧や小高き宮の幸を受け	老いどちの楽しむ声や寒日和
飯山	田崎	金子	吉原	宮本	大関	竹 林	海老沢幸子	海老沢静夫	笠倉	君島貞	鈴木,	宮本	松崎
昭	信 子	弘 毅	京 子	立 男	くに	てる	八幸 子	海老沢静夫	陽 子	君島真理子	鈴木ノブ子	芳 江	いま

成人となりし孫より正月は一緒に吞むと新酒 青磁 帯解く女の影まで映し春の障子の半びらき 老女の手作り雛様祭り若きあの日を懐かしむ 服はパステル春風モード窓に飾っ 土蔵白壁 筑波ふところ春告げ鳥に梅花揺すられ出る笑 【さくら俚謡会】 俚 謠 桃花に染まり客を迎える雛の家 た吊 稲葉 恩田きみ子 つく志輝美 木みどり 建正 哲人 雛

亡き友の残せし湯のみ見るたびに年末語るひ 十二支で午を午と読み 手造りの味噌仕込まんと裸木に雪つもる日も む先人の知恵 残りもの勿体無いと 話し客も愉快に 旧年を無事に年越し豆をまく又来る年に夢を いだきて まをみつけて 頑張れ婆ちゃん」 「すみつかれ」初午に食 落語ではユーモアに 皆川 佐藤 榎戸 篠崎 中原すみ子 栄子 米子 悦子 貞之

さくらがわ

サイズ 掲載料 (月額) 1枠45mm×85mm、2枠45mm×172mm 1枠10,000円、2枠20,000円

※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111・75-3111、内線1268

きらから、お何いいたします。 により、高のに買取りしております。 ウルトラマン・怪獣・ブロック・戦隊ヒーロー・リカちゃん人形 仮面ライダー・合体ロボット・LEGO・プラモデル。本など・・ (仮)こどもブロック研究所 増田俊伸 桜川市大国玉2056-1 10時~19時(不定休) お電話はお気軽に 2090=30 古物商許可·茨城県公安委員会 第401220000511号

歌壇の会

黒田

歌